

## 横浜子どもスポーツ基金「オリ・パラ スポーツフェスティバル」報告

日 時	令和3年11月27日 8:40～12:30
場 所	横浜国際プール
参加者 (うち障害児)	300名 (8名)
活動内容 写真など	<p>11月27日(土)第2回オリ・パラスポーツフェスティバルを横浜国際プールで開催しました。参加児童や引率の先生方の笑顔あふれる、素晴らしいフェスティバルとなりました。参加児童は、パラスポーツやオリンピック種目の体験や展示物見学、パラスポーツ選手の映像の視聴などを行いました。初めて経験する競技も多かったようですが、協力団体のご指導のもと、豊かな体験活動を行うことができました。</p>  <p>ブラインドサッカー体験には、ブラインドサッカーチーム「buen cambio yokohama」の方にご指導いただきました。アイマスクを着用したうえで「転がっているボールを拾い、コーラーにボールを渡す体験」、「コーン当て体験」等を行いました。また、選手による「ジグザグドリブルからのシュート」のデモンストレーションも見せていただきました。選手のボールコントロールやスピード、迫力に子どもたちから大きな歓声があがっていました。</p>  <p>ボッチャ体験には、「横浜ボッチャ協会」の方にご指導いただきました。参加児童がその場でグループに分かれ、6コート同時進行で体験を行いました。ルール説明を聞いた後、実際にゲームをして、ボッチャの楽しさにふれることができました。一投ごとに、大きな声援が送られるなど白熱した試合が繰り広げられました。各コートに協会の方々をサポートに入ってくださり、児童へ温かい声掛けをしていただきました。</p>  <p>フライングディスク体験には、「かながわ障がい者フライングディスク協会」の方にご指導いただきました。協会の方々による示範をもとに、ディスクの持ち方、投げ方など基本的な動きの練習をした後、ローテーションでいろいろな場を楽しみました。アイマスクを着用したり、車椅子に座ったりして的にディスクを投げる体験もしました。仲間へ声援を送る児童の姿が印象的でした。</p>  <p>また今回は「市民局オリンピック・パラリンピック推進課」や「障害者スポーツ文化センターラポール」のご協力を得て展示コーナーも設置しました。聖火リレーで使用したトーチを実際に触れることができるコーナーやパラスポーツの写真の展示、様々な競技用車いすの展示、横浜国際プールで事前キャンプを行った英国水泳チームについての展示など2021年開催の東京オリンピック・パラリンピックに関するものを見学するコーナーを設置しました。また、横浜にゆかりのあるオリンピック選手やパラスポーツの選手に関する展示物を見学するコーナーやインタビュー映像を視聴するコーナーも設置しました。児童は、一つひとつの資料をじっくり見たり、考えたことを仲間と伝え合ったりしていました。</p>
全体所感	<p>新学習指導要領によると、各学校において「オリ・パラ教育」を教育課程に位置付けることが明記されています。横浜市立小学校体育研究会では、この「オリ・パラ教育」を進めるにあたり、各学校において「教育プログラム」を進めてもらいながら、このような「体験プログラム」によって、子どもたちに机上の学びだけではなく、実際に自らで経験してもらうことも同じように重要なことと考えています。</p> <p>今回のフェスティバルにおいて、子どもたちにはパラスポーツを体験してもらいました。このような積み重ねが、障害のあるなしに関係なく、共に手を携えて生きていこうとする、横浜が目指す共生社会の創造につながっていくと考えています。</p> <p>横浜市立小学校体育研究会はこれからも「オリ・パラ教育」は「教育プログラム」と「体験プログラム」が二つの柱と考えて、推進していきます。</p>

主催：横浜市立小学校体育研究会 協賛：横浜市教育委員会 □ 横浜市立小学校長会 □ 横浜市小学校教育研究会 □ 横浜市安全教育振興会